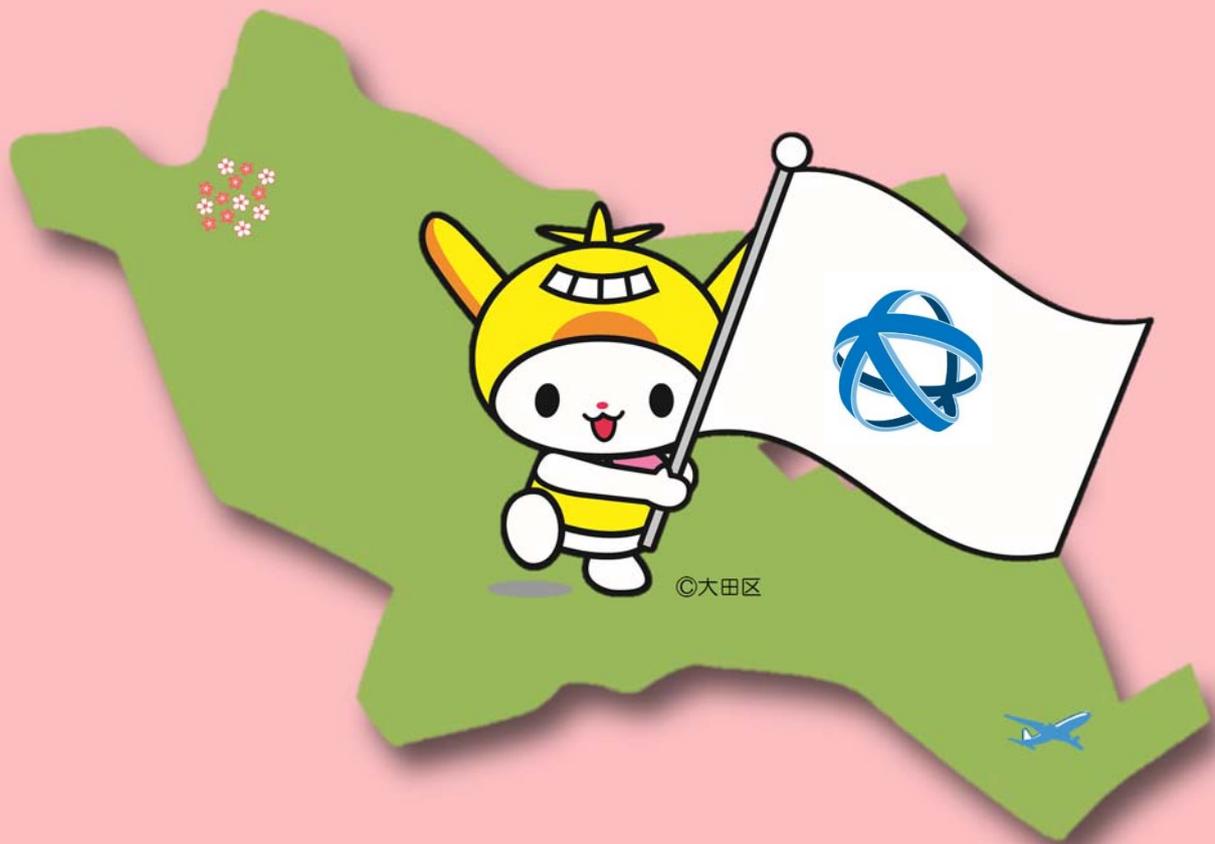


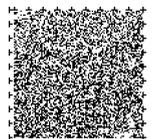
おおた 子どもの生活応援プラン

大田区子どもの貧困対策に関する計画



平成 29 年 3 月
大 田 区

この冊子は音声コード付きです。
右のマークが音声コードで、コードの位置を示すために切り込みを入れています。
専用の読み上げ装置を使用して読み取ることで、音声で内容を聞き取ることができます。



【子どもの生活応援プラン策定にあたって】

—子どもたちの笑顔あふれる大田区を！—

厚生労働省の最近の調査では、17歳以下の子どもの6人に1人が相対的貧困の状況にあるとされています。総じて子どもの貧困は、外からは見えにくく、さまざまな要因が複雑に重なっており、中には、子どもとその家庭だけで解決することが難しい課題もあります。大田区でもこの問題を重く受け止め、このたび「おおた 子どもの生活応援プラン」を策定いたしました。

本プラン策定にあたっては、大田区の地域特性を踏まえた実効性のある計画とするため、「大田区子どもの生活実態調査」及び「ひとり親家庭の生活実態に関する調査」を実施し、できる限り大田区の子どもの状況と家庭の状況を把握するよう努めました。また計画策定の過程において「大田区子どもの貧困対策に関する計画検討委員会」による議論や、区民説明会及びパブリックコメントを実施し、区民の皆様から多様なご意見をいただき、計画への反映に努めてまいりました。

調査にご理解・ご協力くださいました区立小学校5年生の皆さん、保護者の皆様、ご意見をお寄せくださった皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

子どもには、自分を認め、受け入れてくれる人の存在が必要です。子どもたちが、未来を築くために必要な力を身に付けられるよう、保護者とともに、私たちも、子ども一人ひとりに寄り添い、見守っていくことが大切です。

大田区は、互いを認め助け合う「地域力」のまちです。区内各地では、多くの方が、地域活動に活発に取り組む姿に出会うことができます。

人を想う心が、人をつなぎ、地域を温かく包んでいきます。気づき、見守り、すべての子どもたちを社会的に包み込むような温かい支援（「社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）」）は、子どもの貧困問題解決に最も有効な方法の一つです。

区は、すべての子どもたちの将来が、その生まれ育った環境に左右されず、自分の可能性を信じて未来を切り拓く力を身につけられる社会の実現をめざし、地域の皆様と手を携えて、全力で取り組んでまいります。

平成29年3月
大田区長

松原忠義

